

第49回



各会派がつどう書作展

同時展観 書展 de アート

日本に於ける書道発祥の地とされる奈良は、東洋と西洋を繋ぐ歴史的な交易路「丝绸之路（シルクロード）」の終着地でもありました。そうした歴史的繋がりが、交易路で栄えたベルシャ文化に着眼し、高い芸術の域まで高めた「ベルシャ書道」のアンティークカリグラフィを中心に、世界的に高い評価を受ける「アナビアン・コレクション」を紹介します。

現代書壇巨匠作家展  
現代書壇代表作家展  
奈良県招待作家展  
奈良県書道選抜展

# 日本の書展

クラウドファンディング実施中!

「第49回日本の書展 奈良展」を通じて、書道文化の素晴らしさを知っていただくとともに、奈良の老舗書道具店の墨や筆をクラウドファンディングの返礼品としてお届けします。

日本の書展 奈良展 応援プロジェクト  
(1月11日※ 12:00まで)



エールメール 検索

「奈良県市町村長展」も開催いたします。

Photo: Luca Murai  
Design: Niwatoritaro

会期

2022.  
2月23日(水・祝) ~ 2月27日(日)

午前10時~午後6時[最終日は午後2時閉場]  
※入場は各日とも閉場30分前までをお願いします。

会場

奈良県文化会館

A・B・特別展示室(奈良市登大路町)

入場料

一般 500円・学生 400円

※小学生以下、70歳以上は無料  
(70歳以上の方は証明書をご持参ください)

主催/奈良新聞社、公益財団法人 全国書美術振興会  
後援/文化庁、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会

特別協力/アナビアン・コレクション  
協賛/日本たばこ産業株式会社 奈良支店

●新型コロナウイルスの感染状況により急遽中止や一部変更、入場制限する場合がございます。●体調の悪い方や発熱などの症状がある方は入場できません。  
●マスク着用・検温・手指の消毒・ソーシャルディスタンス等のご協力をお願い致します。

奈良新聞社「日本の書展事務局」 ☎0742-32-2115(平日午前9時~午後5時)



第49回

# 日本の書展 de アート 特別展示

## アナビアン・コレクション

### ペルシャ書道の歴史

ペルシャ芸術のなかで、もっとも魅惑的な表現法である書道は、イスラム以前の時代から高いレベルの芸術として熱愛されてきました。

紀元前2800年頃にはすでにペルシャで使われていた幾何学文字ですが、長い歴史を辿るあいだに、幅広い様式に発展していきました。建築物の装飾彫刻や、陶器の杯や建築タイルなどへの塗りつけ、絨毯への織り込み、コーランの経典や詩集本への彩りが、その例です。

それらは、単なるデザインやモチーフではなく、精神的な意義を与え、その魅力は自由な発想から来るものです。書道家は、自作の葦ペンを万年筆の形に削り、墨に付けてカリグラフィー用のつるつるした紙に詩歌を書き上げます。

ペルシャ書道には、行書、草書、隸書のような様々な書体があります。原始的な文体は、クーフィー体。コーランに使われている装飾的な文字は、ソルス体とナスタリーク体。塵のような細かい書体は、レイハン体とゴバール体。トルコのオスマン帝国でスルタンが署名に使っていたのは、トグラ体。なかで、ナスタリーク体がかもっとも簡素なため、高度な技巧が必要とされています。日本の書道で「一」のように、文字がシンプルほどに少しでも葦ペンがずれるとバランスが崩れやすいのです。



第49回

# 日本の書展 de アート 特別展示

## アナビアン・コレクション

### アナビアン・コレクションとは

イラン第一の美術コレクターでありパーレビー国王の美術顧問を務めていたラヒム・アナビアン氏は、豊かな知識と眼力を通して、質の高いペルシャ陶器の蒐集品を完成させました。通常は、発掘当初に完全な姿形で出てくる陶器は少なく、修理工場などで破片を継ぎ合わせ、釉を塗り、文様を書き足すものが多いのですが、原形を保った焼き物のコレクションは世界でも稀な存在といえます。



故  
ラヒムアナビアン氏

日本と同コレクションとの出会いは、著名な作家であった井上靖氏、元 東大名譽教授であった江上波夫氏、元 東京国立博物館アジア・エジプト室長であった杉山二郎氏を初めとする多くの文化人が、テヘランのアナビアン家を訪問した際に、ラヒム氏から多くの知識と眼力を得たことから始まりました。ラヒム氏の蒐集品は、やがて東京国立博物館、池袋オリエント博物館、岡山市立オリエント博物館、出光博物館など、日本を代表する博物館や美術館に、海を越えて伝わりました。

陶器だけでなく、ペルシャ錦や、今回「日本の書展 奈良展」でご紹介するペルシャ書道のアンティークなど、多岐にわたる美の世界は、「アナビアン・コレクション」として、世界的に広く知られています。

今回の特別出品にあたりまして、ラヒム・アナビアン氏のご息女であるプーリー氏、そしてご令孫であるダリア氏のご協力に、篤く御礼を申し上げます。